

# 「嚥下通信」 Vol.9

認知症は食欲不振や飲み込む力の低下などを引き起こします。今回は認知症の中でも、**血管性認知症**と**前頭側頭型認知症**の、主な症状と食事時の対応をご紹介します。



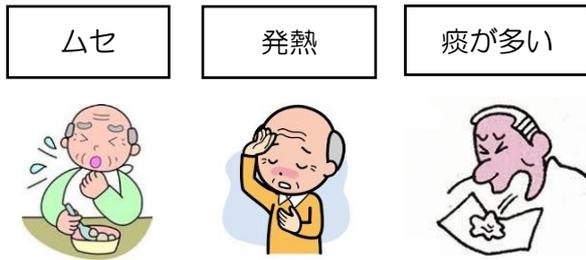
## 血管性認知症

### ☆主な症状

- 脳血管疾患から起こりうる認知症のため、多彩な症状を示す  
⇒ **重度嚥下障害**、麻痺、注意障害 など
- 他の認知症に比べて、**記憶障害が軽度で人格が保たれていることが多い**

### ☆食事時の特徴とその対応方法

- こんなことがあったら、  
**言語聴覚士などの専門職に相談！**



- 麻痺の状態に合わせて姿勢調整や環境調整が必要



## 前頭側頭型認知症

### ☆主な症状

- **比較的若い年齢**で発症する
- 人格変化・行動障害：**抑制が効かなくなる**。こだわりが強くなり同じことを繰り返し行う。

### ☆食事時の特徴とその対応方法

- 食べるペースが早い ⇒ 窒息しないのであれば許容する。  
**のどにつまりにくい食事**にする（刻んだものや柔らかいもの）。



ごはん から おかゆ への変更や、お肉や魚を一口大に切ることで窒息を予防

- 何でも口に入れてしまう ⇒ 食べてはいけないものを目につくところに置かない

